

武蔵野

市議会だより

No.310

MUSASHINO
MUNICIPAL
ASSEMBLY

発行日：平成16年(2004年)5月15日
発行：武蔵野市議会
東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL0422-60-1883(直) FAX0422-55-7555

E-mail OFC-GIKAI@city.musashino.tokyo.jp HomePage <http://www.city.musashino.tokyo.jp/assembly/index.html>

第1回 市議会定例会・臨時会閉会

3月1日から開かれた第1回定例会は、3月26日に閉会しました。

今議会では、市長の平成16年度施政方針演説、これに対する7人からの会派代表質問、平成16年度各会計予算などの審議や議決のほか、11人の議員から一般質問が行われるなど、活発な議論が交わされました。

また、4月8日、会期1日で開かれた第1回市議会臨時会では、武蔵野市市税条例の一部を改正する条例ほか1議案が可決・承認されました。

第四期長期計画討議要綱について

二月二十六日の全員協議会において、第四期長期計画討議要綱について、第四期長期計画策定委員との議論が行われました。

この討議要綱は、昨年九月に発足した第四期長期計画策定委員会が、庁内ヒアリングや市民委員会、各種懇談会等からの意見などをもとに、第三期長期計画の実績評価や計画策定の基本的な考え方、今後取り組むべき課題など、第四期長期計画策定に向けて討議すべきことを取りまとめたものです。

策定委員と議論

全員協議会では、八名の策定委員との間で、子育て支援のあり方や教育問題、防犯や防災、市民活動支援など、市政全般にわたって幅広く意見が交わされました。

第四期長期計画策定委員会は、今回の議論を踏まえ、今後分野別市民ヒアリングを開催するなど、広く意見を求めた上で、第四期長期計画案を策定し、その内容について再び全員協議会で議論する予定です。

平成16年度予算が成立

一般会計は603億円

一般会計六百三億円を中心とする平成十六年度の各会計予算が、三月二十六日の本会議で可決・成立しました。これによって市政運営の大枠が確定し、各種事業の推進が図られることとなります。(三面に施政方針、一・三面に代表質問、四・五面に予算特別委員会審査概要及び討論を掲載)。

平成十六年度一般会計予算、下水道事業会計・国民健康保険事業会計・老人保健(医療)会計・介護保険事業会計の四特別会計予算、水道事業会計(企業会計)

予算の各予算案については、十四名の委員からなる予算特別委員会(三月五日に設置)に付託されて審査が行われました。十五日開会の同委員会で正副委員長が互選されると、続く十六日から実質五日間にわたって審査されました。

二十六日の本会議では、井口予算特別委員長より委員会における審査の概要について報告があり、その後、報告に対する質疑、討論が行われ、討論終了後に起立により、個別に採決した結果、各予算はいずれも賛成多数で可決されました。



市長の施政方針

土屋 正忠 市長
TSUCHIYA Masatada

【市長が3月1日の本会議で行った「施政方針」の要旨です】

今年度の重点施策は、第1に、よりきめ細やかな市民の安全対策の実施、第2に、地域の防災拠点となる市立小・中学校と市役所本庁舎の耐震補強工事と防災センター（仮称）建設を行う防災施策の充実、第3に、大野田小学校校舎の建てかえ、第4に、住民基本台帳ネットワークシステムを中心とするe-Japan戦略II対策である。

第三期長期計画第二次調整計画の優先事業は、①介護保険制度の改革が焦点となる高齢者福祉の推進、②「身体・言語・自然」をキーワードに総合的に進める子ども施策の推進、③三鷹・立川間連続立体交差事業や農水路跡地に建設する新公共施設等を中心とした武蔵境のまちづくりの推進、④吉祥寺の新時代に向けた総合的なまちづくり、⑤地域で取り組む環境施策と緑化の推進を行う。

優先事業以外の特徴的施策では、①武蔵野文化事業団設立20周年記念事業、②ムーバス新規路線開設のための検討やレモンキャブの増車、③陸上競技場の底地の買い取り、④道路整備の促進、⑤公共施設のバリアフリー化推進、⑥国際・国内交流事業の推進、⑦武蔵野地域自由大学の努力と知的障害者の作業所の設置、⑧基本健診の改善、⑨中近東文化センターへの支援、⑩男女共同参画実現に向けた取り組み、⑪水道事業給水開始50周年記念事業、⑫下水道の臭気対策を行う。

そのほか、本市の所管事業ではないが、外かく環状道路、都道調布谷線、保健所再編、緑町都営住宅建てかえ、桜堤公園建てかえについては、その推移を注意深く見守り、市民の立場に立って必要な行動を行う。

より細やかな市民の安全対策を

施政方針を質す

代表質問

第1回定例会の2日目の3月3日、市長の施政方針に対して、7名の各会派代表者による代表質問が行われました。以下はその要旨です。

路線商業の「コミュニティ」の再生を活性化で



島崎義司議員
SHIMAZAKI Yoshiji
(自由民主党)

市内の中小零細企業や商店街を取り巻く現状は廃業、閉店、後継者難など、著しく悪化し、このままでは商店街が担ってきた治安、交通安全、防災などのコミュニティ機能は低下する一方である。市内商業に対する総合的な施策が必要と考えるが市

長の見解を伺う。
路線商業の衰退には構造的な問題があり、この流れはなかなか変わらないと思うが、個々の店や商店街のネットワーク化、公的・生活サービスのネットワークを含めるなど総合的に商店街を活性化するには、支援策をよき研究したい。
子どもを取り巻く社会問題が深刻化している。この背景として、子どもを生み、育て、しつけるといふ家族機能の低下を指摘したい。低年齢児童と親との間における家族機能について市長の見解を伺う。
家族機能を強化する必要性については同感である。家族のあり方について問題提起をして

いきたい。
子育て支援は、全児童的観点でサービスを考えるべきだ。保育園、幼稚園を含めた子育て家庭に対する公費支出の格差をどう考えるか。また、境幼稚園のあり方の見直しは、丁寧かつ慎重な対応が必要と考えるが、市長の見解を伺う。
公立の保育園、幼稚園とも、適正な事業経費を考慮する必要がある。境幼稚園の今後については、同地域の公園建てかえや民間大規模団地新築等の要素も合わせて考える必要がある。このほか、安全と防犯、行政改革、まちづくり等についての質問がありました。

地域コミュニティを再生して防犯力を向上させていく視点から、市民が自らのアイデアで、自主的に防犯活動を行えるよう、市がサポートできないか。
今後市民の防犯活動を積極的に支援していきたい。一層の防犯を図るため、市では安全

防犯広報隊（仮称）の設置を検討している。
各種関係団体との連携強化を初め、着実に地域防災態勢が構築されていく。さらに、平成十八年度に活動拠点となる防災センター（仮称）が完成すれば、今後の中心課題は、市民の防災意識を高めることだと考える。
現在、現在の防災態勢に対する認識と今後の防災施策について伺う。
小・中学校を一時（いつと）避難所とし、耐震補強や備蓄については計画的に整備している。今後は木造密集地域や、来街者で特に混雑する吉祥寺に密集する建物を中心としたハザード面の安全対策、市民の意識改

革が今後の課題であり、着実に取り組んでいきたい。
平成十七年の介護保険法の改正に向けて、市は保険者として、どのようにかわっていくのか。市長会の取り組みも含めて伺う。
行政の現場で感じたことを全国市長会の組織である介護保険特別委員会の場で発言していきたい。一市長としても頑張りたい。
このほか、憲法論議に対する認識、税収確保の見直し、税収減による財政計画への影響、総合的な防犯計画、保健センターの運営のあり方、国の国語教育に対する提言等についての質問がありました。



川名ゆうじ議員
KAWANA Yuuji
(民主・市民ネット)

施政方針では保育園改革について、経費削減をして、一時保育、乳幼児受け入れの拡大等を行うとある。この改革では、保育サービスの向上によって、公立保育園に子どもを通わせる保護者の満足度を向上させることと、経費削減のどちらを主な目的としているのか。
サービスの向上と経費削減の両方を目的としている。公立

保育園保護者の満足度を高めるため、研修も含めていろいろな策を講じた。
防災施策の充実について異論はないが、経済情勢を考慮してみれば、防災センター（仮称）にどの程度費用をかける必要があるのか、慎重に議論するべきである。予定されている防災センター（仮称）はどのくらいの災害規模を想定しているのか、防災システムを考えているのか。
防災センター（仮称）としては、耐震基準の一・五倍の強度が必要とされるため、市役所の建物とは別に整備する必要はある。センターの機能については、総務委員会でもよく議論していただきたい。
中学生の昼食への対応について、市の費用負担が少ない方式も複数あるため、より積極的

に実施していく考えはないか。また、この問題について市議会だけではなく、当事者である保護者や市民とも議論していくべきではないか。
現在三校で購買等を実施しているところだが、弁当を持って来なかつた生徒への対応については、教育委員会でも前向きに検討している。
このほか、吉祥寺シアター（仮称）ごみの減量策等についての質問がありました。

昨年三月二十日に開始された米英軍主導によるイラク攻撃は、大義なき侵略戦争であり、自衛隊が軍事作戦に加わるのは憲法違反だと考える。市長の見解を伺う。
戦争の大義はともかく、自衛隊のイラク派遣は国会で有効に成立した特措法に基づいてであり、憲法違反とは到底言えない。判断は最高裁判所が行う

医療改悪や年金の引き下げ等により、社会保障の国民負担増が続いているが、高齢者にとっては個人住民税の均等割引き上げや介護保険法改正により、さらに厳しい状況になると考えられる。市長は今回、高齢者に配慮して国保税の値上げを見送ると発言したが、同様に公共料金の値上げも行わないことを求める。
財政の見通しが厳しいのは共通課題である。値上げや値下げを行うかはともかく、公共料金の見直しは一任期に一回は行うべきだと考える。
都道調布保谷線の拡幅計画は、国の史跡に指定された玉川上水と交差するため、文化庁は地元自治体や教育委員会の意見を聞くとの説明があった。玉

川上水の保全についての見解は、できることがあれば検討したいが、都の事業でもあるので今後ともいろいろ考えていきたい。
このほか、三位一体改革、路線商店街対策、ごみの有料化、介護保険、公立保育園の民間委託化、職員定数、学校給食問題に関する市政アンケートの結果等についての質問がありました。

地域のきめ細やかな防犯対策を



小林清章議員
KOBAYASHI Kiyooki
(市議会公明党)

公明党が市長に提出した防犯強化を求める要望書の六項目について、所見を伺う。
①きめ細かい地域パトロールやホワイトイグル増車の方向性はその通りだ。不審者侵入防止の校内巡回は達成できている。④防犯ブザーは安価なので、市の貸与ではなく、注意を促し

た上で、購入は各家庭の判断としたい。⑤空き交番解消等は都に要望していきたい。
国会議員の汚職等は議員の資質の問題と考えるが、所見を伺う。
基本的な資質に欠けている。公人は、公の権限を行使する際はとりわけ厳しくなくてはならない。
おおむね二つの交通不便地域へのムーバスの導入とネットワークの完成の展望を明確に示す時期が来ているのではないかと、新路線については、警視庁との話し合いなどもあり、明確には言えないが、来年十一月のムーバス運行開始十周年を迎えるまでに、ネットワークを完成

ごみの戸別収集と家庭ごみ収集の有料化について、緻密な計画と市民への丁寧な説明を要望する。また、有料化の収入を環境基金として環境教育等に活用すべきではないか。
モデル地域以外の十地域のうち、四、五地域でも一度試行をした上で段階的にやっていきたい。環境基金設立は、考えていない。
このほか、マニフェストの動き、地域社会の共同性のあり方、中学校給食、防災センター（仮称）の周辺自治体との連携、交通バリアフリー事業、扶桑通りの改修等についての質問がありました。

現在凍結中の練馬・世田谷間の外環道路に関して、昨年、国・都から大深度地下方式で建設を目指したいとする方針が示された。市長は、この方針をもつて国が正式に凍結解除したと発言しているが、国や都による正式な凍結解除の表明はない。発言の誤りを認め、考えを改めて伺う。

若いうちから強い意志のある中学校給食の実施、乳幼児医療費補助の所得制限撤廃等に関して、議会でも多くの議員が取り上げているにも関わらず、施政方針に全く関連した記述がない理由を伺う。
第四期長期計画の位置づけにより対応を考えた。
公立保育園改革は、新年度から正規職員を減らす一方、サービス増と内容だが、保護者の立場から見て、子どもの安全や保育の質の確保に不安がある。このほか、イラク戦争等は米国の力の外交が奏功したと市長が評価する問題、防災センター（仮称）建設だけを急がずに、木造家屋の耐震改修補助こそ急いで進める必要性、市主導の交流事業の見直しの必要性等についての質問がありました。

今後、保護者や現場職員の声を改革の中へ取り入れる考えはあるか。
アルバイトや嘱託職員も責任を持って働いており、職員の減が短絡的にサービス低下と結びつくことはない。今後とも十分に説明し、現場と話し合っていくべきだ。

※「施政方針」

「平成16年度施政方針並びに基本的施策」は、武蔵野市役所のホームページ（http://www.city.musashino.tokyo.jp/）でご覧いただけます。また、市役所2階の市政資料コーナー、各市政センター、各コミュニティセンターで配布しています。



子どもの居場所、遊ぶ気力・体力の充実を

あそべえのような、子どもの居場所となる施設の充実も重要だが、子どもたちの外で遊ぶうとする気力や体力、人と触れようとする気力が失われていることが本質的な問題である。子どもたちの居場所づくりについて、またこれらの問題解決に重要な役割を果たすセカンドスクール

の今後の展開についての市長の見解を伺う。
昔に比べると、子どもの居場所がなくなってきた。小学校の低学年などには、ある程度共通の場をつくる必要がある。また、子ども同士でコミュニケーションがとれなくなくなってきている。次世代のコミュニケーション能力を十分育てるためにセカンドスクールを含め、戦略的な施策が必要である。
三鷹駅北口周辺整備は、第四期長期計画調布谷線の中でも土地の活用方法について触れられているなど、少しずつではあるが可能性が広がってきた。S O H Oを整備し、ベンチャービジネスを育成することを含め、三鷹駅北口周辺のランドデザ

インを伺う。
三鷹駅北口は、業務型のまちづくりになると考える。現在、内部で議論しているところだ。
都市計画調布保谷線（三・三・六号線）については交通問題や環境問題などに不安がある。内部で検討委員会を設置するとのことだが、具体的な内容伺う。
交通量の増加が与える影響や環境緑地帯についてよく検討していきたい。
このほか、防災センター（仮称）、IT等についての質問がありました。



市民意識を高揚する 防犯・防災態勢を



与座 武議員
YOZA Takeshi
(市議会市民クラブ)

大義なき 自衛隊派遣は違憲だ

市民意識を高揚する 防犯・防災態勢を

市民意識を高揚する 防犯・防災態勢を



市民意識を高揚する 防犯・防災態勢を

予算特別委員会 審査概要

予算特別委員会は3月5日、委員14名からなる予算特別委員会を設置し、同月15日、正副委員長を選出しました。一般会計は、3月16日から22日までの実質5日間で行われました。一般会計は、603億円で、前年度比60億円の増(11.0%増)となりましたが、これは、平成7年度と8年度に借り入れた減税補てん債を一括借りかえするためです。歳入の根幹をなす市税収入は、法人市民税、個人市民税の減収などから、前年度比3.7%の減を見込んでいます。景気低迷の続く中、本予算は「厳しい財政環境を克服し長期計画の諸事業を着実に推進する予算」と位置づけられています。

以下は各委員から予算と行政運営について、活発な議論が行われた予算特別委員会の審査概要です。

教育費

学校の安全 どう守るのか

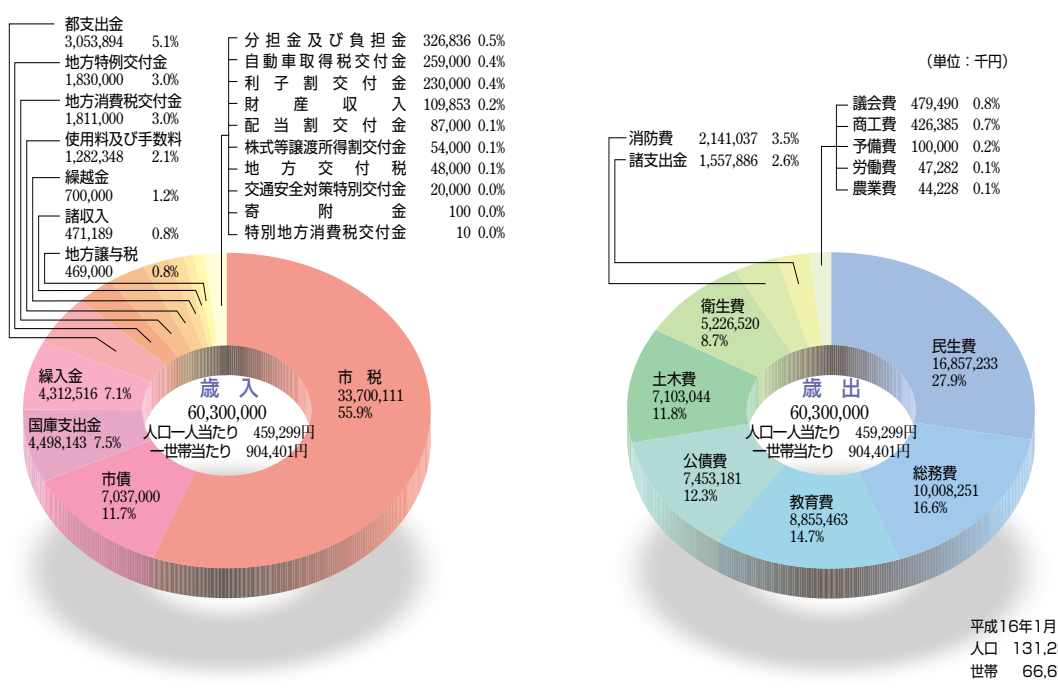
問 学校における安全対策や防犯のための教育の内容をどうするか
答 警務課職員による安全監視、警察と直結したホットラインの設置、教室の非常通報ベルの設置等を行っている。また、警察・消防の協力を得て防犯教室

土木費

ムーブスの新路線はどこか

問 ムーブス新規路線の候補地について伺う。
答 中町や吉祥寺本町の西側、御殿山二丁目周辺、境五丁目周辺の中から研究していきたい。
問 プレイパーク実施計画策定について内容を伺う。
答 内容を検討するために、市内の公園で出前のプレイパークの実施を考えている。武蔵野らしいプレイパークという考え方で研究していきたい。

平成16年度一般会計 歳入歳出予算額内訳



井口良美 予算特別委員長

審査した特別委員

平成16年度予算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

- ◎井口 良美 ◎田辺あき子
- やすえ清治 きくち太郎
- 鳥崎 義司 小野 正二
- 向谷 千鳥 山本まさよ
- 山本ひとみ 砂川なおみ
- 川名ゆうじ 土屋美恵子
- 与座 武 深沢 達也

◎印 委員長 ○印 副委員長

総括質疑

今後力を入れたい行政改革は何か

問 最も力を入れたい行政改革は何か。
答 リーダーの仕事を可能な限りスリム化すること、文化事業団やスポーツ振興事業団等のエージェンシーの職員給与を、市職員の七、八割としていくことだ。

歳入

減税補てん債 借換債の詳細は

問 減税補てん債借換債の内容を伺う。
答 平成7年度・8年度に借りた減税補てん債を十六年度に返済するための借換債だ。借換債の利率は二%程度を目込んでおり、十年で返済する予定だ。

民生費

痴呆関連事業の内容は

問 痴呆相談事業と、痴呆予防推進事業の内容を伺う。
答 痴呆相談は、本人あるいは痴呆老人を抱える家族に対する相談を行うもの。痴呆予防推進事業は、痴呆の発症予防や痴呆の進行をおくらせる方法について調査・研究と痴呆予防教室を行うものである。

衛生費

ごみ収集の有料化いつからスタートか

問 ごみ収集の有料化を実施するのはいつからか。
答 全市で戸別収集が始まる十月をめどに有料化した。

農業・商工費

新・元氣を出せ商店街事業 その内容は

問 新・元氣を出せ商店街事業の申請件数と内容について伺う。
答 夏まつり等のイベント事業が二十三件、ホームページの開設や街路灯の建てかえ等の活性化事業が七件である。

総務費

コミュニティ活動は順調か

問 コミュニティ評価委員会の報告書が出されたが、コミュニティ条例制定時に議論された行政の介入や、コミュニティ活動のやる気の低下といった様子は見られたか。
答 全て杞憂に終わり、コミュニティ活動は順調に進んでいる。今後も評価は毎年かごとに行いたい。

消防費

西久保地区の木密対策を伺う

問 木造密集地域である西久保二、三丁目は、防災広場の整備が十分であるかについて伺う。
答 適当な場所があれば整備していきたい。

各特別会計

十七億円を超える繰入金 かが考ええるか

問 国民健康保険事業会計からの繰り入れについて見解を伺う。
答 特別会計であるので、法定分を除き、一般会計からの繰入金がないのが正常である。折に触れて検討している。

問 介護保険料の収納率が毎年下がっているが、見解を伺う。
答 原因は、保険料が上がったことと、繰り越しが年々とも積み重なって来たためである。
問 水道事業を都に一元化するということについての見解を伺う。
答 単独でやっていきたい。

予算に対する討論

三月二十六日の本会議で七人の議員から予算に対する賛否の討論が行われました。以下はその要旨です。

豊富な市民生活を継続・発展させるにふさわしい予算

土屋美恵子議員(賛成) 市議会市民クラブを代表し、平成16年度一般会計・4特別会計並びに1企業会計予算に賛成する。景気低迷による厳しい財政状況の中、市民サービスを低下させない予算であり、市民の安全・安心、子育て環境、障害者福祉、緑化の推進に対する取り組みなどを評価したい。保育サービスの拡充や、交通バリアフリーの推進・支援、吉祥寺駅、特に青年を対象とした雇用対策は行っていない。ハローワークから要請があれば協力したい。
問 市民農園の申し込み状況を伺う。
答 平成十六年度の利用申し込みは緑町、御殿山、吉祥寺南町の三カ所で、前回利用していない申込者に三分の一の特別枠を与えている。倍率は特別枠が三・七九倍、一般枠が一・五五倍、全体で二・二九倍である。

予算、いかに生きた使い方をするか

三宅英子議員(賛成) 一般会計に反対、その他の会計に賛成
平成16年度一般会計予算に反対・4特別会計並びに1企業会計予算に賛成する。防災センター(仮称)や吉祥寺シアター(仮称)、F・Fビル改修などの建設関係予算の決定のプロセスが不明な点、保育園だけを独立採算的な視点で見て経費削減を進め、バランスを欠く点、施策がハード偏重でソフト面が乏しい点、緊急時における学校と家庭との連絡方法の改善が図られていない点、公募による人材登用の効果があらわれていない点で反対する。

保育園認可を評価、ゴミ有料化は問題

本間まさよ議員(賛成) 日本共産党武蔵野市議団を代表し、2004年度一般会計については表決を棄権し、4特別会計並びに1企業会計予算に賛成する。国と地方の関係が見直され、自治体が変革の局面を迎える中、本予算は大筋において、新たな分野に踏み込む施策が盛り込まれ、既存の施策は見直しつつも継続すべきものは拡充されており、評価できる。市民の安全の確保、温かい地域福祉の増進、公立保育園改革への慎重な対応、公立小・中学校の魅力づくり、循環型のまちづくりの推進を要望する。

リーディングシティ 模範ともいえる予算

田辺あき子議員(賛成) 市議会公明党を代表し、平成16年度一般会計・4特別会計並びに1企業会計予算に賛成する。武蔵境駅南口の旧農水省食糧倉庫跡地への公共施設の基本計画、吉祥寺シアター(仮称)建設、防災センター(仮称)建設、本町在宅介護支援センター(仮称)設置、公立保育園改革、先進的な保健推進施策、ムーブス新路線、子どもの食に関する事業、家族ふれあい自然体験などを評価する。一方、補助金の見直しや市民に対し十分な説明責任を果たすことを求める。

新しい時代をにらみ 挑戦していく予算

深沢達也議員(賛成) 民主・市民ネットを代表し、平成16年度一般会計・4特別会計並びに1企業会計予算に賛成する。国と地方の関係が見直され、自治体が発展の局面を迎える中、本予算は大筋において、新たな分野に踏み込む施策が盛り込まれ、既存の施策は見直しつつも継続すべきものは拡充されており、評価できる。市民の安全の確保、温かい地域福祉の増進、公立保育園改革への慎重な対応、公立小・中学校の魅力づくり、循環型のまちづくりの推進を要望する。

進まない、ムダ使いは正

山本ひとみ議員(反対) 市民の党を代表し、2004年度一般会計、4特別会計並びに1企業会計予算に反対する。公共事業や委託料にかかる入札、契約制度や補助金制度、外郭団体のあり方について改革が十分ではなく、580万円の市長交際費や鳥取県や遠野市での交流事業等にはむだが多い。約20億円の建設コストがかかる防災センターよりも、木造住宅の耐震改修助成の拡充が必要。保育士定数を減らし新しいサービスをふやす保育改革はサービス低下への不安が残る。

新たな時代の市民ニーズに こたえる予算

島崎義司議員(賛成) 自由民主クラブを代表し、平成16年度一般会計・4特別会計並びに1企業会計予算に賛成する。市税収入の大規模減が見込まれる中、内部努力が見られ、重点課題である市民の安全対策や防災センター(仮称)等の防災施策の充実を初め、公立保育園改革、在宅介護支援センター実施設計、子育て支援ネットワーク構築、ムーブス新路線の検討等を評価する。地域経済が厳しい中、引き続き職員定数適正化計画、効率的な行政運営を進めるよう要望する。

災害とは何を指すのか

深沢達也議員

- 問 BSE、SARS、鳥インフルエンザなど、予想もつかない事態が発生し、一方テロの問題などもある。「災害とは何を指すのか」、改めて市長の認識を伺う。
答 異常な自然現象、人為的な災害に加え、米軍の落とした不発弾、テロなども今日の課題であると認識している。
問 防災への取り組みとして、市民・家庭、地域、市の抱える課題はそれぞれ何であると考えているか。
答 家庭では、火災防止や食糧・水の備蓄など、地域では、災害訓練への参加、市では、木造密集地域対策、防災センター設置、吉祥寺などのビル街での対策が課題だ。

子どものために、スポーツ広場の建設を

桑津昇太郎議員

- 問 子どもたちが仲間と好きときにボール遊びができ、スポーツを身近に楽しめる遊び場、スポーツ広場の建設を求めます。最低でも600から2,000平方メートルの広さが必要であり、なかなか難しい。
問 公園には、人の目が届かなかったり美観上問題のある場所があるが、環境整備、事故防止への配慮、点検方法について伺う。
答 職員の巡回管理を基本に、見通しの悪い公園は重点的に管理している。また、公園安全実態調査を年4回実施している。このほか、小・中学校の校庭にある用具の安全点検、歩行者・自転車の安全確保、職員定数適正化についての質問がありました。

一般質問



平成16年第1回定例会で、3日目、4日目で、11名の議員から一般質問が行われました。この中から質問項目を書録、各コミュニティセンター、議録(5月下旬発行予定)、また(第1回定例会分は5月21日登録)でご覧いただけます。

03月4日、5日、市政全般につきました。この中から質問項目を書録、各コミュニティセンター、議録(5月下旬発行予定)、また(第1回定例会分は5月21日登録)でご覧いただけます。

※一般質問とは、議員がその所属する地方公共団体の行政に対する方針等について所信を質し、あるいは報告を求めるといいます。

詳しい内容はこちらのアドレスから検索いただけます
http://kensakuv.city.musashino.tokyo.jp/kaigiroku/



吉祥寺駅前、喫煙マナーアップキャンペーンを行うスタッフ。4月18日より、吉祥寺周辺の繁華街を「路上禁煙地区」に指定しました。同地区内には喫煙場所が4カ所設置され、それ以外の場所では禁煙となります。安全で清潔なまちのために、マナー推進員の巡回や、路上表示、ポスター等により喫煙マナー向上を図ります。

住民本位の緑町都営住宅建てかえを

向谷千鳥議員

- 問 市が東京都と結んだ建てかえに関する協定は、建設戸数や住宅面積等で、当初の方針から後退する内容だが、見解を伺う。
答 都に対してさまざまな要望を出し、基本的には受け入れられたと考えている。
問 都市再生用地的土地利用について、地域住民の意向を取り入れるべきではないか。
答 住民から意見を求める時期は、現段階ではなく、具体的なプロジェクトが明らかになってからであるとする。このほか、北町調理場から扶桑通りに抜ける生活道路・通学路の安全対策等についての質問がありました。
※ 都市再生用地：建てかえ事業に伴い、敷地の有効活用により創出した用地。

市長の人事権を問う

きくち太郎議員

- 問 市長は人事にどの程度かかわるのか。また、透明性を確保する考えはあるか。
答 人事の責任は最終的にすべて市長にある。プライバシーにかかわるため、本人情報の開示請求以外は公開する必要はない。
問 子どもたちを犯罪から守るため、市立小・中学校等に防犯カメラ等の設置が望まれるが、いかがか。
答 全校で緊急通報装置、非常ベル等を設置している。千川・大野田・井之頭小学校では防犯カメラを設置し、費用対効果も含めて運用方法を検討している。このほか、年度単位の利用登録駐車場の申し込み期間についての質問がありました。

学校からの緊急連絡方法にメールの活用を

小野正二議員

- 問 安全についての、子どもを取り巻く環境は厳しいものになっているが、①緊急時の学校から保護者への連絡方法を②学校からの緊急連絡をインターネットや携帯電話のメールで配信する考えはあるのか③消防、警察、PTA等の防災・防犯ネットワークの充実をどう図っていくつもりか。
答 ①保護者の連絡先は、複数把握しており、学級別、地域別の連絡網を整備している②IT技術の活用には関心を持っており、今後研究していくつもりだ③不審者情報の増加もあり、緊密に連絡を取り合っている。防犯のための避難訓練も警察・消防の協力を得て行っている。

NPO活動の充実を求める

土屋美恵子議員

- 問 行政のサービスや施設運営をNPOに任せる動きが大きな流れとなっている。NPOは市民の社会参加の道具であり、その発展のためには社会的投資が必要と考えるが、①現在の市内NPOの活動状況を②本市においてもNPOとの協働、支援等を提言されているが取り組みは。
答 ①法人登録34団体、その他が18団体で、法人格の有無にかかわらず、幅広い活躍をしている②NPO事業支援補助金や、マネジメント講座の開催等で必要に応じて支えていきたい。このほか、ホワイトイーグルの事業実態についての質問がありました。

防災ボランティアの現状は

金子 武議員

- 問 災害時に備え、自主防災組織ができていくが、防災ボランティアについて、人数、活動状況、役割分担について伺う。
答 市民防災協会の防災推進員は102人で、平成15年度は1月末現在で地域の自主防災組織との自主訓練を23回実施した。役割については、今後総合的に考えたい。
問 災害時は救出作業器具の不足が予想される。市民同士が貸し借りできる仕組みをつくれぬか。
答 市内の建設業組合と協定を結んでいる。市民の協力を願い、よく研究したい。このほか、たばこのポイ捨てや迷惑喫煙の防止等についての質問がありました。

巨額の防災センター建設市民のメリットは

三宅英子議員

- 問 20億円の巨費を投じる防災センター(仮称)建設の市民にとってのメリットは何か。
答 災害時の情報収集・分析、指揮命令、備蓄機能等であるが、市民に対して直接メリットがある性格の施設ではない。
問 本市防災計画における建物の被害想定について、①都の調査結果と比べ、建物の被害想定数が極端に大きい理由は②この被害想定数を減少させるために、これまで市ではどのような取り組みを行ってきたか。
答 ①本市独自の調査結果だ②一時(いっとき)避難所や備蓄・初動態勢等、様々な施策を行ってきた。あわせて防災センター建設や木造密集地域対策等に取り組またい。

より市民に愛されるオルガンコンクールを目指して

砂川なおみ議員

- 問 市民が国際オルガンコンクールに親しめるよう、①小・中学生がパイオルガンに触れる機会を設けてほしい②市民講座を開き、受講した方に使用を認めてほしいか。
答 ①研究していきたい②高度な楽器であり、だれでもというわけにはいかない。
問 地場野菜を給食に取り入れるために、①提供可能な野菜のリストを作成すべきで②農家の方のお話を聞く機会を設けては。
答 ①研究したい②交流給食におきいたり、学校菜園の指導をしていただいている。このほか、ユニバーサルデザイン宣言等についての質問がありました。

議員出席表

平成15年5月1日から同16年3月31日までの議員出席表がまとまりました。

議員は、表に記載してある会議のほかに議会外活動として各種の委員を兼ねています。また、正副議長も各委員会等に随時出席してありますが、出席表には記載してありません。

表中、議運は議会運営委員会、議会だよりは議会だより編集委員会、鉄農は鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会、外環は外環道路特別委員会、決算は平成14年度決算特別委員会、予算は平成16年度予算特別委員会の略称です。

(15.5.1〜16.3.31)

Table with columns for session (本会議), standing committee (常任委員会), special committee (特別委員会), and total (合計). Rows list council members and their attendance counts.

地域の声を聞きマンション問題解決を

梶 雅子議員

- 問 井の頭公園に面した住宅地に計画されている大規模マンション計画に対し、地域からは不安と批判の声が上がっている。①なぜ市は住民の声を聞かず、高さ12メートルの4階建てを認めたのか②市に住民の立場に立った問題解決の努力を求める③この場所は、現在埋蔵文化財発掘調査が行われているが、見学会を行う考えはあるか。
答 ①南側にまとまった自然林が残るならば許容の範囲と考える②事業者に誠意を持って住民と話すよう指導した③住居址等が発掘されれば考えたい。
問 本市で少人数学級を行う考えはあるか。
答 40人定数で少人数指導等を進めたい。

障害者向けグループホーム増設を

山本ひとみ議員

- 問 障害者が住みなれた地域でともに生きていくため、①ショートステイ施設やグループホームの整備目標の変更と増設を②ムーバス新路線にノンステップ型機種の導入を。
答 ①市民参加で決めた障害者計画を重視したい②車両については今後の課題である。
問 西部地区のまちづくりについて、①高家賃等で戻れない方がいる桜堤団地建てかえ事業の評価は②西部図書館の存続を。
答 ①社会的弱者への配慮は申し入れており、事業は協定どおり着実に進んでいる②現在のところ存続する考えはない。このほか、外郭団体の見直し、性同一性障害等についての質問がありました。

委員会等の行政視察報告

市議会では、議案や陳情などの審査の参考とするために、委員会を中心に、関連の施設などの視察を行っています。今号の市議会だよりでは、今年に入ってから、3月までに行われた行政視察の状況をお知らせします。

中学校給食(1/30・2/3 文教委員会)



光が丘第四小学校(練馬区)。請願・陳情が付託されている中学校給食について、1月30日に立川市と八王子市を、2月3日には練馬区と西東京市を視察しました。これら自治体ではデリバリーランチや親子給食方式などが実施されています。

防災センター(2/12 総務委員会)



東京都防災センター(災害対策本部室)。2月12日、目黒区並びに東京都の防災センターを視察しました。本市でも西庁舎への増築という形で防災センター(仮称)設置が予定されており、災害時における情報収集、指揮命令伝達、復旧活動支援といった機能が予定されています。

中近東文化センター(2/27 議員有志)



中近東文化センター(三鷹市大沢)。中近東文化センターは、中近東関係の収蔵施設としては国内唯一といえる施設です。2月19日の文教委員会、同センターが一般展示を休止している状況とその支援事業計画について行政報告があり、今回視察を行いました。市民講座等で利用できるよう、支援事業が実施される予定です。

JR中央線西原踏切仮設歩道橋(3/12 鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会)



西原踏切仮設歩道橋。JR中央線の連立立体交差化事業に際して発生した「開かずの踏切」対策として西原踏切仮設歩道橋が設置されました。仮設歩道橋は3月15日、歩道橋の両側に併設しているエレベーターは4月6日から使用が開始されています。

第1回定例会で可決された意見書は4件で、政府へ提出されました。その要旨は次のとおりです。

独立行政法人都市再生機構法付帯決議の全面実現に関する意見書

次の事項を要望する。

一、独立行政法人都市再生機構への引き継ぎの際は、独立行政法人都市再生機構法に対する衆参両院国土交通委員会の付帯決議事項が全面的に実現され、公団住宅居住者の居住の安定を図るよう求めること。

二、現行の家賃制度と改定ルールを見直し、高家賃を引き下げ、空き家の減少に努めるよう求めること。

三、戻り入居者に対する継続居住のための家賃制度を存続、拡充するよう求めること。

四、建てかえに当たって、団地の敷地は、公共住宅の建設と住

政府へ意見書

基礎年金の国庫負担割合三分の一から二分の一への早急な引き上げ等に関する意見書

下記施策の実施を強く要望する。

一、安心と信頼の持てる年金制度の確立を図ること。

二、基礎年金の国庫負担割合を、三分の一から二分の一へ早急に引き上げること。

三、行政サービスの効率性向上のため、住民に身近な社会保険行政は、地方自治体と連携して実施するものとする。

(衆議院・参議院議長、内閣総理・総務・財務・厚生労働大臣あて)

マンション対策の充実強化に関する意見書

次のマンション対策について一層の充実強化を強く求める。

一、管理組合や区分所有者への情報提供や相談対応等の支援体制の充実を図ること。

二、適正な長期修繕計画の策定及び修繕積立金の積み立てを促進する施策を講ずること。

三、マンション管理業者に適切な指導を行う等、マンション管理者の資質の向上に努めること。

四、区分所有者の立場に立ったマンション供給者や管理者の育成等に努めること。

五、敷地内道路や準公共的空間に対する固定資産税の軽減等、マンション住民の負担軽減に配慮すること。

(衆議院・参議院議長、内閣総理・国土交通大臣あて)

劣化ウラン弾の使用禁止に関する意見書

日本政府が、アメリカ政府に対して以下のことを求めるよう要請する。

一、あらゆる戦闘、訓練において、劣化ウラン弾の使用を禁止すること。

二、現在保有している劣化ウラン弾を廃棄処分すること。

三、劣化ウラン弾の販売を禁止し、既に同兵器を保有している国に対して、その廃棄を促すこと。

四、劣化ウラン弾の被害を受けた人々に対して、適切な医学的検査と治療を行うこと。

五、放置されている使用済みの劣化ウラン弾や、劣化ウラン弾によって被爆した車両・兵器などを、早急に収集し、生活の場から撤去すること。

(内閣総理・外務大臣、内閣官房・防衛庁長官あて)

請願・陳情 審議結果

採択

- 安心と安全に配慮した市立保育園改革に関する陳情(意見付採択)
- 独立行政法人都市再生機構法付帯決議の全面実現に関する陳情
- 継続分の採択
- 市庁舎における分煙対策に関する陳情(意見付採択)
- 市内の公共の場所における喫煙と煙草の投げ捨ての禁止に関する陳情(意見付採択)
- 取り下げ
- 民間社会福祉施設サービス推進補助事業の見直しに関する陳情
- 民間社会福祉施設サービス推進補助事業の3年後の再協議に関する陳情
- 不採択
- 武蔵野市立保育園における人員削減に伴う、臨時職員の諸待遇等に関する陳情
- 公立保育園改革に関する陳情
- 公立保育園改革計画の見直しに関する陳情
- 公立保育園改革計画の実施に関する陳情
- 「住宅リフォーム費用助成制度」制定に関する陳情
- 在日外国人の国民年金の無年金高齢者及び障害者に対する救済措置に関する陳情
- 継続
- 併当も選択できる中学校給食の実施に関する請願
- 障害者の自立支援に関する陳情
- 大野田こどもクラブの避難経路に関する陳情
- 国立国会図書館への恒久平和調査局設置に関する陳情
- 中央防災会議に浜岡原発震災専門調査会の設置を求める意見書に関する陳情 ほか九件

永年勤続議員表彰

2月17日開催の東京都市議会議員研修会において、東京都市議会議員会より永年勤続議員として次の議員が表彰され、その伝達式が3月1日の本会議で行われました。

●20年以上勤続 石井 一徳

議案の審議(可決・同意・承認)結果一覧

第1回定例会

【市長提出議案(23件)】

- 武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について 同意 (全会一致)
 - ※武蔵野市固定資産評価審査委員会委員、山口幸三氏の任期満了に伴い、再任の同意を求めるもの。
- 武蔵野市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について 同意 (全会一致)
 - ※武蔵野市固定資産評価審査委員会委員、井出多加子氏の任期満了に伴い、再任の同意を求めるもの。
- 武蔵野市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 可決 (全会一致)
- 武蔵野市児童扶養手当条例を廃止する条例 可決 (賛成多数)
 - ※武蔵野市独自の児童扶養手当制度を、国の児童手当制度の拡充に伴い廃止するもの。
- 武蔵野市公共事業の施行に伴う融資に関する条例の一部を改正する条例 可決 (賛成多数)
- 損害賠償の額を定めることについて 可決 (全会一致)
- 下水道事業の委託内容の変更について 可決 (全会一致)
 - ※武蔵野市公共下水道神田川排水区の汚水の流入先を森ヶ崎水再生センターに変更するため、三鷹市との間に結んでいる委託規約を改正するもの。
- 平成15年度武蔵野市一般会計補正予算(第5回) 可決 (全会一致)
 - ※国民健康保険事業会計への繰出金等、総額6億8,887万4,000円を予算に追加するもの。
- 平成15年度武蔵野市下水道事業会計補正予算(第1回) 可決 (全会一致)
- 平成15年度武蔵野市国民健康保険事業会計補正予算(第2回) 可決 (全会一致)
- 平成15年度武蔵野市老人保健(医療)会計補正予算(第2回) 可決 (全会一致)
- 平成15年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第3回) 可決 (全会一致)
- 平成16年度武蔵野市一般会計予算 可決 (賛成多数)
- 平成16年度武蔵野市下水道事業会計予算 可決 (賛成多数)
- 平成16年度武蔵野市国民健康保険事業会計予算 可決 (賛成多数)
- 平成16年度武蔵野市老人保健(医療)会計予算 可決 (賛成多数)
- 平成16年度武蔵野市介護保険事業会計予算 可決 (賛成多数)
- 平成16年度武蔵野市水道事業会計予算 可決 (賛成多数)
- 武蔵野市生活安全条例の一部を改正する条例 可決 (全会一致)
 - ※東京都の保健所再編に伴い、生活安全会議委員の名称を変更するもの。
- 平成16年3月における武蔵野市議会議員の期末手当に関する条例 可決 (賛成多数)
- 平成16年3月における武蔵野市特別職等の職員期末手当に関する条例 可決 (賛成多数)
- 平成16年3月における武蔵野市一般職の職員期末手当に関する条例 可決 (全会一致)
- 損害賠償の額を定めることについて 可決 (全会一致)

【議員提出議案(4件)】

- 独立行政法人都市再生機構法付帯決議の全面実現に関する意見書 可決 (全会一致)
- 基礎年金の国庫負担割合三分の一から二分の一への早急な引き上げ等に関する意見書 可決 (全会一致)
- マンション対策の充実強化に関する意見書 可決 (全会一致)
- 劣化ウラン弾の使用禁止に関する意見書 可決 (全会一致)

第1回臨時会

【市長提出議案(2件)】

- 専決処分の承認を求めることについて(武蔵野市非常勤消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例) 承認 (賛成多数)
- 武蔵野市市税条例の一部を改正する条例 可決 (賛成多数)
 - ※地方税法及び国有資産等所在市町村交付金及び納付金に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行うもの。

全員協議会

2月26日に、武蔵野市第四期長期計画討議要綱について、全員協議会が開催されました。(詳細は1面に掲載)

行政報告

●喫煙マナーアップキャンペーンについて(3月5日 本会議)

たばこのポイ捨てや歩行喫煙が各地で問題となっている中、武蔵野市においては罰則付きの条例ではなく、市民のマナーの向上を求めて、問題解決を図ります。そのため、4月17日に東京都の市町村の共同事業としてJR吉祥寺駅周辺において喫煙マナーアップキャンペーンを実施し、その後は、同地域において路上禁煙地区を指定し、喫煙者のマナーアップを求めていく旨の報告がありました。

市議会だよりの写真を募集します

市議会だよりに一層親しんでいただけるように、8月発行の第311号より、1面の表紙を飾る写真を募集します。下記の要領でご応募ください。

なお、応募作品はお返しできませんので、ご了承ください。

応募要領

- ・規 格: 六つ切(紙焼き)、カラー。二重応募(他のコンテスト等に応募した作品の応募)は禁じ、未発表・未公開のオリジナル作品に限ります。(編集上トリミングすることもあります)
- ・内 容: 武蔵野市内の風景など(明らかに人物を特定できる場合は、ご本人の了承を得てください)
- ・審 査: 議会だより編集委員会が審査します。

- ・発 表: 採用された作品は、8月1日発行の市議会だよりに掲載します。
※賞品等はありませんのでご了承ください。
- ・著 作 権: 作品の著作権は制作者本人に帰属します。ただし、6ヵ月間、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
- ・期 限: 6月1日(火)当日消印有効
- ・添付書類: 撮影者の氏名・住所・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名を写真裏面に記載し、郵送にてご応募ください。
- ・宛 先: 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局 市議会だより係
- ・問い合わせ: 電0422-60-1883

議会ダイアル

自由民主クラブ	TEL 60-1884	FAX 51-9444
民主・市民ネット	TEL 60-1889	FAX 51-9587
市議会市民クラブ	TEL 60-1885	FAX 51-9445
市議会公明党	TEL 60-1887	FAX 51-9479
日本共産党武蔵野市議団	TEL 60-1888	FAX 51-9485
市民の党	TEL 60-1890	FAX 51-9604
無会派議員(第7控室)	TEL 60-1886	FAX 51-9469
無会派議員(第8控室)	TEL 60-1909	FAX 51-9629

議 会 事 務 局 TEL 0422-60-1883
E-mail OFC-GIKAI@city.musashino.tokyo.jp
HomePage http://www.city.musashino.tokyo.jp/assembly/index.html